



DEN

No.11

2014.1.24発行

作業療法を伝える — NEWS&COMMUNICATION

心豊かに作業療法



CONTENTS

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 教えて！作業療法 | 11 ボランティア報告 |
| 2 まんが作業療法物語 ～訪問編～ | 12 シリーズ 作業療法士の視点から① |
| 7 施設紹介 / 佐藤第一病院 | 13 以心DEN心 |
| 8 作業療法フェスタ2013 | 14 活動報告 |
| 9 作業療法一日体験 | |





訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションは、

病気やけが、加齢などにより、心身に何らかの障害を持った方のうち、外出が困難な方や日常生活上何らかの問題がある方に対して、日常生活の自立や主体性のあるその人らしい生活の再建及び質の向上をうながす目的で、作業療法士などが自宅に訪問し、次のような支援を行います。



日常生活動作の再獲得

排泄・食事・入浴・更衣・整容・歩行等の各日常動作の練習・指導を行います。また本人だけでなく、家族に対しても動作方法や介助方法を具体的に指導します。



身体機能の改善

動きづらい・動かしづらくなった筋肉や関節の動きを促し、楽な体の使い方ができるよう支援します。また、より安定した動作が行えるよう支援します。

環境の整備

その人が生活しやすい環境の整備を支援します。福祉用具（車椅子や杖、入浴用の椅子など）の選定や住宅改修のアドバイスを行います。



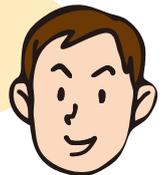
心理的サポート

意欲低下を引き起こさないよう、生きがいづくりをサポートします。
また、介護による身体的・精神的な負担などを抱えている家族に対し、これらを軽減できるよう援助・助言します。

生活圏の拡大

活動性の向上、外出等の練習、公共交通機関の利用などを練習し、生活圏の拡大を支援します。

介護保険あるいは医療保険を用いて利用する方法があります。
(※各市町村にお問い合わせください)



訪問リハビリテーションの利用者は増加傾向にあり、サービスを提供する事業所も増加しています。

超高齢化社会に突入していく状況にあって、訪問リハビリテーションのニーズは今後ますます高まっていくと思われます。

発達領域の訪問リハビリテーション

医療保険を用いて利用できます。

発達に応じた遊びや生活（食事や排泄、更衣）、社会性の発達を支援します。また介護方法のアドバイスや、就学に向けた支援も実施します。



精神領域の訪問リハビリテーション

医療保険を用いて利用できます。

家庭や地域社会に適応しながら治療を続け、安定した生活が送れるよう支援します。

生活状況や就業状況などの確認・支援、内服管理指導などを行います。生活スキル・対人スキルの向上を支援します。



まんが

作業療法物語

～訪問編～



訪問リハビリテーションとは、在宅で生活する方々の自宅を訪問し、日常生活や家事の自立、社会参加の実現に向け支援するサービスです

おおいと りょうた
大分療太

今日は、5か月前に脳卒中を発症したAさんが、専門の病院でリハビリを行い自宅退院が決まったため、地域でAさんに携わる支援者*が集まり担当者会議を開くことになりました

この会議では、今後の生活目標や支援方法などを話し合います

*支援者：ケアマネジャー、介護サービス事業所スタッフなどを指します

まず、現在の病院の様子を教えてください



バリアフリーの環境であれば、歩きも心配ありませんが屋外や小さな段差は、まだ転倒の危険があります

Aさん、自宅に帰るのに、心配なことはありませんか？

別に困ったことはないけど…

私が仕事で家に留守の間一人である時間があるから、本当はデイサービスを利用してほしいんだけど…絶対に嫌だって

自宅で転倒せず安心して生活ができるように訪問リハビリを利用してみませんか？

家まで来てくれるならやってみようかなあ

私が訪問リハビリ担当の大分療太です

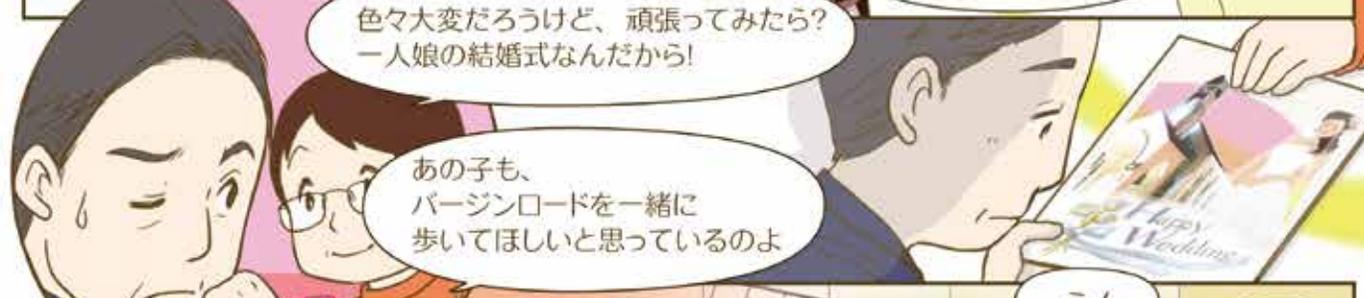
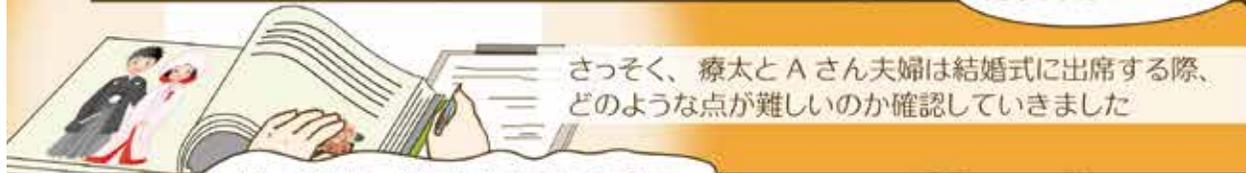
まずは自宅の中で転倒せずに移動できるか確認して、少しずつ応用的な動作にチャレンジしていきましょう

担当者会議から、2週間後自宅に退院し訪問リハビリが開始になりました
まずは、部屋の中の段差など屋内での移動が安全に行えるように練習をしていきました

Aさんは日に日に歩くのが上手になり、2階への階段や玄関の上り框の昇降練習、

さらに床からの立ち上がりなど応用動作の練習も行っていました

Aさんは身の回りのことが一人で安全に行えるようになりました



結婚式に向けたプログラムに変更し練習をスタート!!!

まずは娘さんとバージンロードを歩く練習をしましょう
右手を組んで、左手で杖をつけて…

ゆっくり、ゆっくり
右足を先に出して、
左足を出してそろえましょう

元気な時も、こんな風にお父さんと腕を組んだことなんてなかったわね
なんだか恥ずかしいわね、お父さん

ビールを注ぐ練習も
してみましようか

左手で瓶を持って、
右手を瓶の下に添えましょう
そうそう上手い!!

結婚式当日!!!

たっ

仕事一筋で頑張ってきたお父さんが、
倒れたと聞いたとき

なんて声をかけたらよいのか分からず、
生きている目標を見失うのではないかと心配でした

今日まで、
私たちの結婚式に出るために
猛特訓をしてきたことも聞きました



これからは、お母さんのために
元気に長生きしてください
家事も手伝ってあげてくださいね

結婚式は、無事に終了し、参加した方に感動を与え、
何より娘さんが大変喜んでくれました



バージンロードは、
ハラハラドキドキしたわよ

お父さん、ちゃんと
エスコートしてくれてたよ
みんなからも、こんなに感動した
結婚式は初めてだってほめてもらったのよ

Aさんは照れていましたが、自信に満ちた表情をしていました



結婚式出席という
大きな目標を達成したAさんは

ハルニキ



それまで、訪問に行くときベッドに座って待っていることが多かったのに、
必ず玄関まで出迎えてくれるようになりました

結婚式をきっかけに少しずつなにかに
チャレンジしたいという気持ちが芽生えてきました



Aさんは歩くのも随分上手になりました
先日の結婚式も大成功しました
そろそろ次のステップに進む時期だと思っています

家事に
チャレンジしてみませんか?

奥さんも
喜ぶと思いますよ

Aさんは、今まで家事の手伝いをしたことがなかったため、何もかもほぼ初めての経験でした

僕も、子供が小さいので
仕事が休みの時には、
掃除や洗濯はしていますよ

釘付まな板

釘に食材を刺し固定することで、
材料を片手で切ることができます

私の若いころは、
子育ても家事も妻に任せっきりだったぞ
今の若い子は感心だなあ

最初は男性が家事をすることに対しても抵抗がありましたが、
療太と楽しく家事訓練をしていくうちに、
徐々に上達し積極的に取り組むようになりました

Aさんは、できることがどんどん増え、
妻が仕事から帰ってくると、
洗濯や簡単な夕食の準備などの家事ができるようになりました

Aさんは、その後も主夫としての新たな役割を見つけ、
活動的な日々を送れるようになりました

訪問リハビリも終了し、
第2の人生を歩み始めました

今日も療太は、皆様の社会参加に貢献できるよう、
新たなご自宅へ走り続けています!!

特定医療法人 明徳会
佐藤第一病院



施設紹介

所在地：宇佐市大字法鏡寺77の1
 病床数：130床（一般病床80床・亜急性期病床10床
 回復期リハ病床40床）
 対象疾患：脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患など
 リハビリテーション部：作業療法士19名
 理学療法士37名・言語聴覚士7名
 リハ助手4名・事務2名
 歯科衛生士1名 計70名
 部内の構成：急性期・回復期・外来・通所・訪問リハビリの
 種別で5つのユニットから構成されている

●訪問リハビリ部門の紹介
 開設：平成20年4月
 従事者：作業療法士1名
 理学療法士2名
 利用者数：月平均18.5人
 （平成25年度上期実績）
 対象地域：宇佐市
 （安心院、院内を含む）

当院の訪問リハビリについて

大分県北部圏域（宇佐・高田地域）には訪問リハビリテーション（以下訪問リハ）のサービスが少なく、在宅生活へ移行が円滑に行いにくい現状にあります。退院後の生活に不安を抱え、在宅復帰が実現できない方、退院したものの、外部との交流が上手くいかず、閉じこもりになりつつある方を目の当たりにしてきました。その様な経験から、当院の訪問リハ部門の運営方針は「地域と連携し、患者様が安心して家庭生活を送り、進んで社会参加ができるように努めること」としました。宇佐・高田地域リハビリテーション広域支援センターとしての役割も重視し、在宅生活が安心して継続できるように、短期間で集中した訪問リハサービスを提供し、当初の目標が達成できた時点で通所系サービスや社会参加へと繋げる体制作りを進めています。

当院で特に力を入れている点は、ご家族・他事業所・院内の連携と、利用者やご家族の希望の実現です。ご家族や他事業所との連携では、転倒などの事故、過介助による活動性や意欲の低下を予防するために、情報交換や手順書等の作成により、動作や介助方法の内容統一を目指しています。また、院内の連携では、急性期から維持期までを担う病院としてリハビリテーション部内とのつながりを大事にしています。利用者の訓練見学や自宅訓練に同行し、今まで行ってきたリハビリテーション内容を把握するだけでなく、退院前のカンファレンスに参加し情報収集することで、在宅生活がスムーズに送れるように取り組んでいます。訪問リハ開始後に前担当セラピストへの定期的な状況報告も行っています。

その他にも、利用者に適した福祉用具や自助具などの考案にも力を入れています。利用者の身体状況や生活環境に合わせて、実際に作成した物を使用することで介助量の軽減や自立となったケースも経験しました。

今後も、地域に根ざした安全なサービスを提供し「信用と信頼」をいただけるように努力し、地域リハビリテーションの推進につながるよう取り組んでいきたいと思ひます。



訪問リハ風景



バス乗降練習



リフトを使用した移乗



私たちが地域生活を応援します



車椅子移乗練習



NBキャッチャー
丸めてポイッ!

ポータブルトイレの排泄物を1人で汚さず簡単に片付けができるアイデア作品



ポータブルトイレ開閉
魔法のリング

麻痺がある方でも魔法のリングでポータブルトイレの蓋を簡単に開閉できる便利道具



花植え

記事担当者

佐々木 秀昭



作業療法フェスタ 2013

”この” ”と” ”からだ” のリハビリテーションの専門家
”その人らしい生活” を支えます

8月18日(日)、イオンパークプレイス大分店で「作業療法フェスタ2013」を開催しました。当協会の幟が立ち並ぶ中、約500名の参加があり、展示パネルや各ブースは大勢の親子連れで賑わい、会場は“作業療法”一色に染まる休日となりました。

今回のフェスタでは、「“この”と“からだ”のリハビリテーションの専門家“その人らしい生活”を支えます」というテーマで、楽しみながら『作業療法』を知って頂けるよう工夫を凝らしました。その一つとして、各展示パネルにイラストや写真付きで作業療法に関連した問題を出題し、集まった方々は、その問題を順に解いていく形式をとりました。問題の一例としては「肩の関節が悪くなるとどの活動が一番困るでしょう? ①髪を洗う ②顔を洗う ③ボタンを留める」といった参加者の日常生活に関連するもので、親子一緒になって一生懸命問題を解いている姿が印象的でした。

また、子どもたちには“箸でお菓子をつまむ体験”や“車椅子体験”のブースを、親御さんには“福祉用具体験”のブースを設けており、それぞれ関心が高かったようです。

今回のフェスタでは単に楽しい体験だけではなく、解いた問題や体験した内容が、作業療法の場面でどのように治療援助として用いられるのかを分かりやすく説明し、作業療法の理解を深めていただけるよう努めました。作業療法フェスタは、参加者が実際の作業活動を体験することで、作業療法を広める最大のイベントです。多くの方々に参加していただき、県民の方々に作業療法をPRすることができました。



高校生



作業療法一日体験

今年で6回目を迎える「作業療法一日体験」が県内56の病院や施設で行われました。今回は168名の高校生に作業療法を体験してもらいました。体験終了後には、「今回の体験に参加することができて良かった」「今後の進路選択に役立てたい」などの感想が聞かれ、作業療法(士)を知ってもらう良い機会となったのではないかと思います。今後も、本事業に一層力を入れ、将来を担う作業療法士の育成につなげていけるよう努力していきたいと思ひます。



実際に治療道具を使ってみました



受け入れ現場の感想

当院では5名の高校生が参加し、作業療法(士)の説明・見学体験を行いました。その中で、自分自身の作業療法士になったきっかけや、働くことの面白さなどを素直に語らせて頂きました。このような体験や人との出会いの積み重ねが、これからの人生の何らかのヒントになることを切に願っています。最後に、「作業療法一日体験」が『自分探し』の場となれば幸いです。

井野辺病院 岸本周作



高校生の感想



アンケートより

- 作業をすることで人に元気と喜びを与える仕事だと分かりました。
- 作業療法士という仕事を今後の進路の一つとして考えたいと思ひました。
- 作業療法について知らないことが沢山あってすごく勉強になりました。
- 初めて作業療法を体験してとても楽しかったです。



患者さんとお話をする機会もありました



最後はみんなで集合写真

受け入れ現場の感想



今回の一日体験を通して、作業療法の魅力・やりがい伝わり、高校生の視野を広げる経験になれば幸いです。私自身、本事業を通す中で、患者さんが普段見せない素振りや表情が見られたことは、初心にかえる良いきっかけとなりました。また、来年も本事業を引き受けたいと思います。

児玉病院 柿本友彦

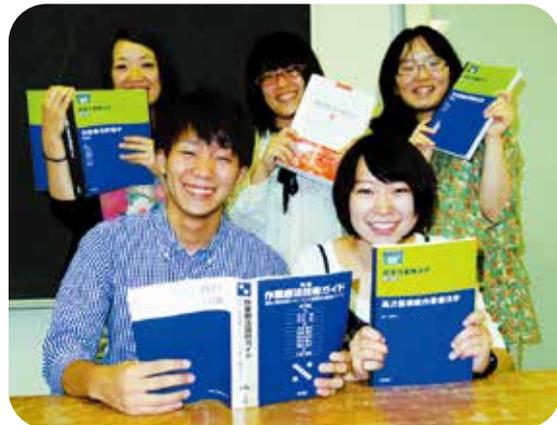
体験者の声

作業療法一日体験を経験した後、実際に作業療法士を目指して養成校へ進学した学生にインタビューしました。

ただいま
勉強中です！

Q 作業療法一日体験に参加し 気持ちの変化はありましたか？

- ・現場の雰囲気がすごく良くて、作業療法士になりたいと思いました。
- ・実際に作業療法士が関わっている時の患者さんの笑顔を見て、やっぱりいい！やりがいがある！と思いました。



Q 作業療法一日体験は学校生活でどのように役立っていますか？

- ・患者さんへの接し方など、一日体験で見た作業療法士の方々を目標にしています。
- ・学校生活では勉強が大変で悩むこともありますが、あの頃の思い出が初心に戻してくれます。

Q 作業療法一日体験で最も印象に残ったことは何ですか？

- ・「作業療法にマニュアルはないんだよ。」という言葉が印象的でした。
- ・笑顔です。病气やケガをしている患者さんが、作業療法士と2人で一緒に楽しんで治療していました。



平成25年9月18日から22日までの5日間、ベトナムのホーチミン市で行われた日本歯科ボランティア機構(JAVDO)主催のボランティア活動に参加しました。今回で2回目の参加となります。

まず、ベトナムの現状を紹介します。ベトナムでは、街を歩くと物乞いや、物売りをして生活している障害者やストリートチルドレンを目の当たりにします。この国では障害者は満足に教育も受けられず、労働する環境も整ってないため、“生きていくため”に必死に生活している姿を間近で見て心を痛めました。活動の中でベトナム戦争博物館を見学しました。現在でも戦争の後遺症や枯葉剤による先天性の障害で苦しむ方が100万人以上おり、戦争の悲惨さを感じました。また、世界一のバイク保有国であるベトナムは、バイク事故が多く事故による後遺症で苦しんでいる方も非常に多いようです。しかし、国内の取り組みは、障害者に対するリハビリテーション提供機関は少なく、理学療法士や作業療法士は総人口に比べ絶対的に少ないようです。

私は、このような現状を目の当たりにし、「作業療法士として何か力になりたい」と強く感じていました。今回活動にあたったのは、貧しい子や孤児たちが暮らしている施設です。限られた設備の中で育つ子どもたちの成長には限界があります。その中で注目したのが“遊び”です。子どもの成長に“遊び”は欠かせません。不幸にも孤児になり心に深い傷を負った子どもたちに遊びを通じて“作業活動への興味を伝えることができたら”と考え、日本の遊びを提供しました。その内容は、折り紙、塗り絵、ビーズ細工などで、1歳から15歳までの子どもを対象に活動をしました。日本から出発する前は言葉も通じない子どもたちと一緒に遊ぶという事に対し不安がありますが、そんな不安も子どもたちに出会った瞬間、子どもたちのパワーに圧倒され一緒に笑い、汗を流すうちに消えていきました。ベトナムの子どもたちは純粋で目の前の“興味”に向かって走る姿がとても印象的でした。

日本にいと何かしら作業療法マインドとカリハビリテーションマインドを見失いそうになることがあります。身近な環境では答えが見いだせないときは、異国に出て異環境、異文化に触れることも大切であると思います。きっと衝撃と感動、そしてインスピレーションが湧き上がってくると思います。

現在、私は別府の医療機関で勤務しています。日々、目の前の障害を持った患者さんに真剣に向き合っています。海外での活動もお勧めしますが、身近な地域にも視野を広げ、活動していく姿勢も大切です。この様な身近な活動も障害者の生活環境を改善していく道程であると考え、大切にしています。

最後に、私にとってのボランティア活動は、多くの感動と明日からの活力を与えてくれました。そして、初めて「日本の豊かさ」に気付かされる機会でもありました。我々だけの思い出ではなく、子どもたちにとって心温まる思い出、そして彼らの未来へも繋がる何らかのきっかけになってもらえれば嬉しいです。

ベトナムでのボランティアに参加して

私が伝えたいこと

児玉病院 作業療法士

柿本 友彦



「地域ケア会議多職種派遣事業」について

常務理事 佐藤 暁
(井野辺病院)

平成12年にスタートした介護保険も今年で14年目を迎えました。この間、時代とともに制度は変化してきましたが、介護保険の理念にもある「加齢に伴って生じる疾病などにより要介護状態になった方々が、尊厳を保持し、それぞれの能力に応じて自立した生活を営むこと」は変わっていません。しかし、「自立支援」の捉え方は人によって解釈が異なり、「できる能力がある」にもかかわらず自立を阻害したり、支援が必要であるにもかかわらず自立を促したり、対応は様々でした。

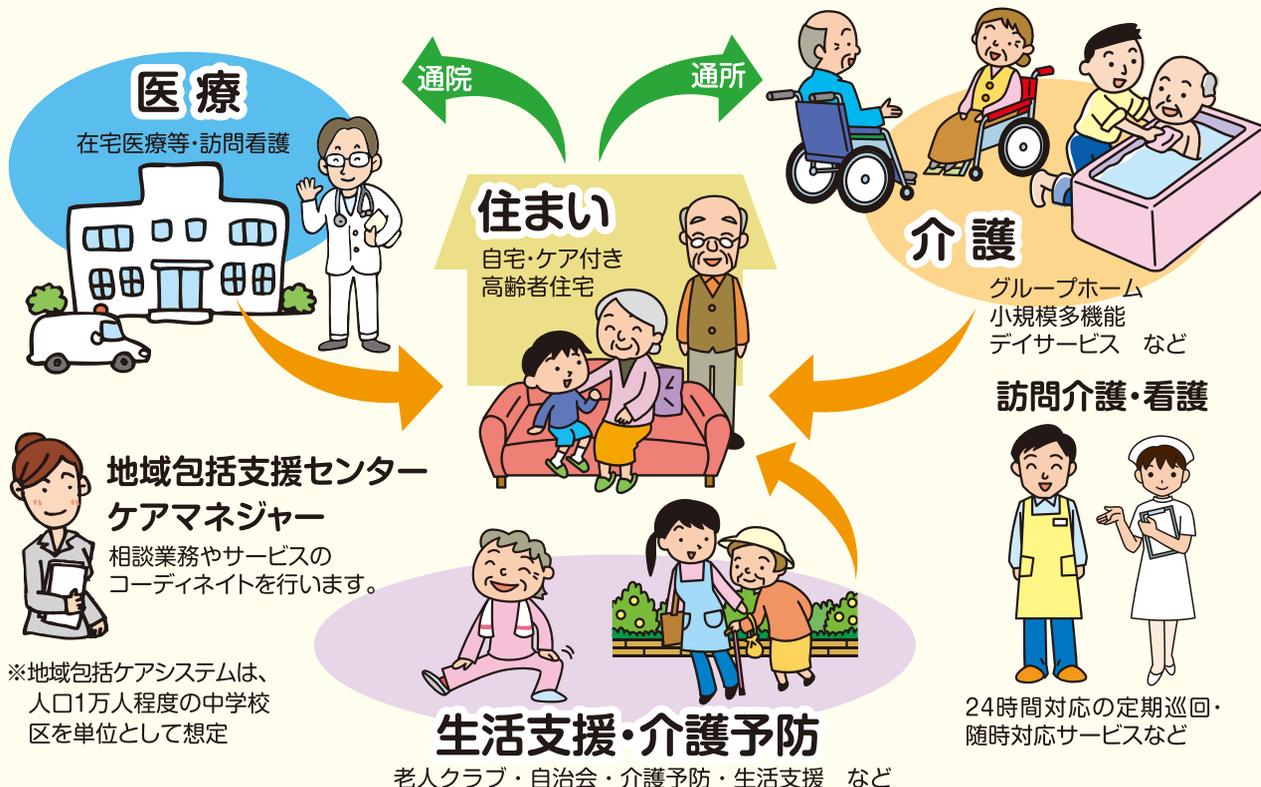
これらの背景を受け、「自立支援」の捉え方を統一するため、大分県では「地域ケア会議多職種派遣事業」を開始しました。平成24年度に豊後高田市・杵築市・豊後大野市の3市を対象にモデル事業が始まり、今年度は8市町村が加わり、計11市町村で開催しています。この事業は、「地域包括ケアシステム」の構築を推進するために、ケアマネジャーやサービス担当者、保険者などの関係者に対し、多職種が連携し、支援することを目的としています。当協会も、各市町村が開催する地域ケア会議に参加し、介護(予防)サービス計画が適宜適切にアセスメント(評価)され「自立支援型ケアマネジメント」に基づいて立てられるよう助言を行っています。

今回は、本事業への参加経緯を紹介しました。次号では、地域ケア会議における作業療法士の関わりを紹介します。

地域包括 ケアシステム イメージ

* 地域包括ケアシステムとは

高齢者が住み慣れた地域(利用者の家まで30分以内で駆けつけられる「中学校区」を想定している)で、自立した生活を送ることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく一体的に提供する体制のことです。





「老い」を支える。



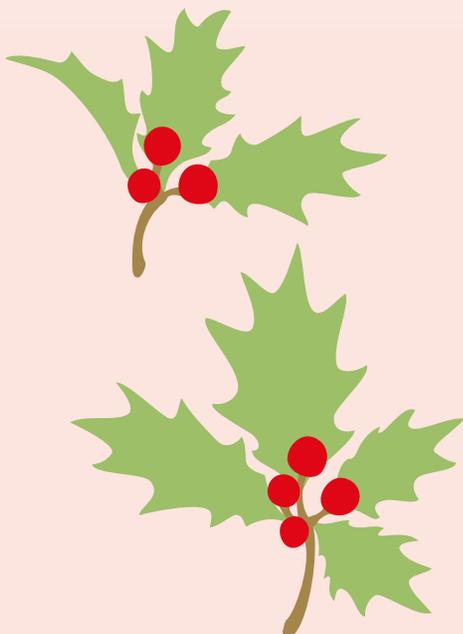
常務理事

山本 勝一

(介護老人保健施設オアシス宇佐)

仏教語で人間がこの世で避けることのできない4種の苦悩(四苦)として「生老病死」があるそうです。私は作業療法士の免許を取得して、初めは一般の病院に勤務していました。しかし、障害を持った対象者が病院を退院した後、これからどのような生活や人生を送るのか。また「老いること」とは心身機能の衰えだけでなく、たとえば価値観がどうなるのか。そんな疑問や興味に駆られ、今から12年前に宇佐市にある介護老人保健施設に就職しました。

勤務した初めの頃は、「関節拘縮や褥瘡を予防しよう、麻痺や筋力低下を改善しよう」といった機能訓練に奔走していました。また、創作活動を用いて対象者に生き甲斐や楽しく過ごして頂いてもらうように思っていました。間違いでありませんが何か足りません。そんな焦った気持ちの状態、あるときCさんの終末期ケアに関わる機会がありました。「回復の見込みが困難な対象者に何をすれば良いのか」不安がありましたが、文献を調べるうちに「終末期ケアは、特別なケアではない」の一文に目が留まりました。恐る恐るCさんに関わっていましたが、Cさんはいつもどんな人にもニコニコしています。次第に体力が衰えても、いつも決まった時間に車椅子に座り手工芸を行っています。次第に食事が摂れなくなった時でも、ご家族からの差し入れのシュークリームを口にするなど、病人とは思わせない素振りで最期を過ごしていました。きっと人には言えない不安を抱えていたと思います。



人は何も語らなくても、この人がどのような生き方をしてきたか、一人ずつの生きざまがあり自然とにじみ出てきます。その人が何も持たずとも何もしなくても、その生きざまが出てしまう。個人因子でいう「強さ(ストレングス)」でしょうか。しかしそれは同時に怖さや弱さも併せ持っています。時代や地域社会のニーズから、当施設では医療管理の必要が高く、重度の要介護者を優先的に受け入れています。在宅復帰できる対象者が少なく、当施設で終焉を迎える方が多い現状です。今までを振り返ると私は対象者やスタッフに支えられていたこと、そして対象者からたくさんの学びを得られたことに感謝しています。またこれから私も「老い」を歩む者として、高齢者の心情を擬似的に体験し学ぶことで、日々の実践と人間性を磨いていきたいと思っています。

活動報告 2013年6月 ▶ 2013年9月

啓発普及活動

第6回作業療法一日体験 [参加者：県内高校生168名]

日時：平成25年7月1日(月)～8月31日(土)
場所：会員所属施設 56施設
内容：保健・医療・福祉施設における作業療法体験や見学等を通じ、作業療法(士)についての理解を深めてもらう

作業療法フェスタ2013 [来場者：約500名]

日時：平成25年8月18日(日) 10:00～15:00
場所：イオンパークプレイス大分店
内容：生活に役立つ作業療法クイズ、こども体験(フラッグ作成)、心と体の相談窓口、福祉用具展示、パンフレット・アメニティグッズ配布 等

王子西春日地区サロン 作業療法出張講座

[参加者：28名]

日時：平成25年9月20日(金) 10:00～11:00
場所：西部公民館
内容：講演、自宅でできる体操の紹介

作業療法の日 リハビリテーション相談窓口

日時：平成25年9月22日(日) 9:30～12:30
場所：大分県作業療法協会ビル
内容：リハビリテーション相談、作業療法士養成校への進路相談 等

他団体主催事業

公益財団法人 日本対がん協会主催 リレーフォーライフin大分2013参加

日時：平成25年9月14日(土)・15日(月)
場所：大分スポーツ公園 大芝生広場
内容：健康増進普及活動、リハビリテーション相談

研修会等

【教育研修】

新卒者研修会 [参加者：66名]

日時：平成25年6月9日(日) 9:30～16:20
場所：ビーコンプラザ
内容：①当協会の歴史・組織について
講師：高森 聖人(会長/株)空色)
②作業療法士に必要な倫理・権利擁護について
講師：衛藤 博史(理事)
③日本作業療法士協会生涯教育制度について
講師：工藤 友治
(教育研修部長/大分下郡病院)
④支部紹介・交流会・部局紹介・関係諸団体からのお知らせ
⑤当協会入会について
講師：藤原 肇
(事務局長/藤華医療技術専門学校)

地域ケア会議助言者養成道場① [参加者：22名]

日時：平成25年7月16日(火) 19:30～21:30
場所：大分県作業療法協会ビル
内容：地域ケア会議について、模擬演習
講師：佐藤 孝臣(副会長/株)ライフリー)

地域ケア会議助言者養成道場② [参加者：22名]

日時：平成25年7月30日(火) 19:30～21:30
場所：大分県作業療法協会ビル
内容：課題発表および総括
講師：佐藤 孝臣(副会長/株)ライフリー)

現職者共通研修Ⅰ [参加者：44名]

日時：平成25年7月28日(日) 9:30～15:00
場所：大分県労働福祉会館 ソレイユ
内容：①作業療法生涯教育概論
講師：工藤 友治(教育研修部長/大分下郡病院)
②職業倫理
講師：山本 勝一(常務理事/オアシス宇佐)
③作業療法における協業・後輩育成
講師：杉木 知武(中津支部長/川島整形外科病院)

現職者共通研修Ⅱ [参加者：38名]

日時：平成25年8月25日(日) 9:30～15:00
場所：ビーコンプラザ
内容：①事例検討方法論
講師：尾山 泰宏(宇佐高田支部長/宇佐病院)
②地域・保健・福祉と作業療法
講師：中村 雅之(大野支部長/ニコニコ銘水苑)
③実践のための作業療法研究
講師：篠原 美穂(湯布院厚生年金病院)

現職者共通研修Ⅲ [参加者：34名]

日時：平成25年9月29日(日) 9:30～12:40
場所：ホルトホール大分
内容：①作業療法の可能性
講師：後藤 英子
(学術局長/大分リハビリテーション専門学校)
②日本および世界の作業療法の動向
講師：石橋 英 氏(国際医療福祉大学)

【学術研修】

学術技能研修会Ⅰ 第3回 [参加者：17名]

日時：平成25年6月11日(火) 19:30～21:00
場所：大分県作業療法協会ビル
内容：「統計学講座～基礎から実践・応用までわかりやすく～」
活用編～統計手法を使ったデータ解析・考察～
講師：彌田 剛(藤華医療技術専門学校)

学術技能研修会Ⅱ [参加者：71名]

日時：平成25年8月4日(日) 10:00～15:00
場所：別府ビーコンプラザ
内容：発達障がい児・者に対する地域支援、具体的支援、実践
①小児期・成人期の発達障害の臨床像、事例を通してのトレーニング
②事例に対する具体的対応について
講師：岩永 竜一郎 氏
(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 保健学専攻理学・作業療法学講座 准教授)

学術技能研修会Ⅲ [参加者：85名]

日時：平成25年7月7日(日) 10:00～11:30
場所：大分県立社会教育総合センター
内容：精神科作業療法における評価の在り方について
～臨床に研究的視点を活かす方法～
講師：早坂 友成 氏
(杏林大学保健学部作業療法学科講師 作業療法士)

【地域研修】

保健医療福祉に関する研修会 [参加者：35名]

日時：平成25年6月2日(日) 11:30～13:00
場所：コンパルホール
内容：①「最近の保健医療福祉施策の動向と作業療法士の関わり」
講師：高森 聖人(会長/株)空色)
②「診療・介護報酬改定の動向からみえてくる作業療法士の可能性」～未来を切り拓くために、私たちがすべきこと～
講師：日隈 武治
(副会長/湯布院厚生年金病院)

創造

まちづくりから広がる
作業療法の可能性

The 17th Academic Meeting of Oita Occupational Therapy

第17回

大分県作業療法学会

日時 2014 **2.2** SUN 9:35~

場所 **B-Con Plaza**

別府市山の手町12-1 <http://www.b-conplaza.jp/>

特別講演 『地域と作業とまちづくり』
9:45~ 講師:西上 忠臣氏 (特定非営利活動法人 ちゃんくす)

講演① 『大分県における地域包括ケアシステムの取り組みについて』
田井 祐二氏 (大分県高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主事)

講演② 『地域ケア会議で作業療法士が果たす役割とは』
佐藤 暁氏 (大分県作業療法協会理事、井野辺病院 在宅リハケアセンターかく 作業療法士)

講演③ 『大分県作業療法協会広報局のまちづくりへの取り組み』
平野 政治氏 (大分県作業療法協会広報局長、明和記念病院 作業療法士)

一般演題ポスター 13:40~ その他 書籍販売



(公社)大分県作業療法協会

☎097-547-8662 oita_ot@true.ocn.ne.jp



リハビリテーションのことや、作業療法
のことで分からなかったり、お困りの
ことがありましたら、右記までご連絡
ください。



公益社団法人 大分県作業療法協会

〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル

TEL:097-547-8662 FAX:097-547-8663

<http://www.oita-ot.com/>